

日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に
関する具体的方策について
(中間報告)

令和6年11月

日進市立小中学校適正規模等検討委員会

目次

I	日進市立西小学校適正化対策の検討結果	1
1	適正化対策の手法	1
2	建設場所について	1
3	適正化対策を進めていくうえでの懸念事項	2
II	検討結果に至る経緯	3
1	日進市立西小学校適正化対策検討の主な実施内容	3
	(1) 日進市立小中学校適正規模等検討委員会の実施	3
	(2) 日進市立西小学校適正化対策検討部会の実施	3
	(3) 「新しい」西小学校に係る住民説明会の開催	3
	(4) 「新しい」西小学校に係るアンケートの実施	4
2	具体的な検討内容	4
	(1) 第1回日進市立小中学校適正規模等検討委員会での検討内容	4
	(2) 第1回日進市立西小学校適正化対策検討部会での検討内容	5
	(3) 「新しい」西小学校に係る住民説明会の結果	5
	(4) 「新しい」西小学校に係るアンケートの結果	5
	(5) 第2回日進市立西小学校適正化対策検討部会での検討内容	5
III	意見	7
	日進市立小中学校適正規模等検討委員会 委員名簿	8

【別添資料】

「新しい」西小学校に係る住民説明会等結果報告書

I 日進市立西小学校適正化対策の検討結果

1 適正化対策の手法

西小学校の適正化対策は、次の3つの手法が考えられるが、「③建て替え(移転)」が最も望ましい。

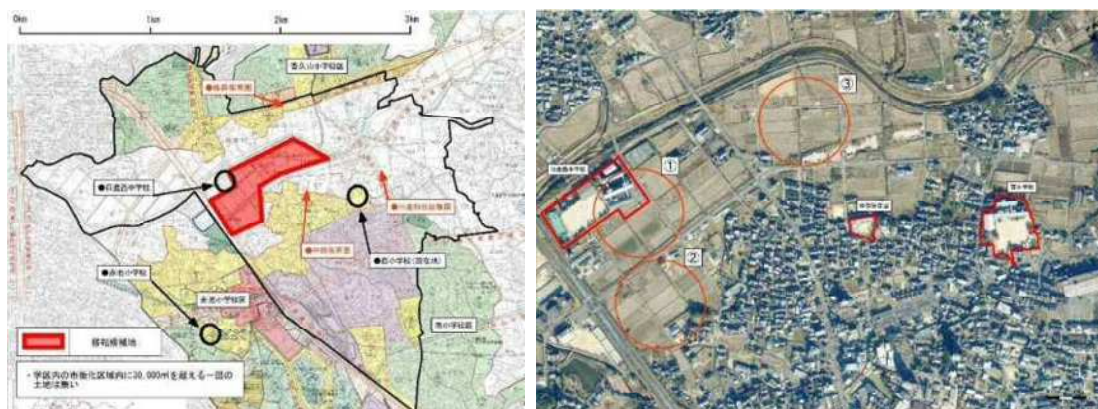
	①長寿命化対策工事+増築	②建て替え(現在地+敷地増し)	③建て替え(移転)
工事期間中の児童への影響	<ul style="list-style-type: none"> 騒音等による授業への影響有り 一部校舎利用に制限有 学校活動と工事の動線区分けが難しい 工事期間が長期化 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音等による授業への影響有り 学校活動と工事の動線区分けが難しい 工事期間が長期化 	影響なし
施設に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 新たな教育環境(バリアフリー等)への対応不可 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな教育環境(バリアフリー等)への対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな教育環境(バリアフリー等)への対応可能 移転場所により中学校との一体利用が可能
敷地に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 増築によりグラウンド面積減少 敷地面積が文部科学省基準を満たさない 整形地ではない 	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 近接地の高低差対応が必要 整形地にはならない 	<ul style="list-style-type: none"> 移転場所により文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 整形された敷地
費用に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 相対的に縮減できる(長寿命化工事+増築費用) 約25年で建て替えが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 相対的に費用がかかる(建設費用+増築用地費用) 工事期間が長期になる場合、建設費用が増大する可能性あり。 北側、北東側敷地を増して工事期間を短縮する場合、約1.9haの土地が必要となる。(敷地面積は3.7haとなり過大となる。) 	相対的に費用がかかる(建設費用+用地費用)
現状課題の解消(周辺道路・駐車場)	解消不可	一部解消不可(敷地増しにより)	解消可能
ハザードマップの浸水区域	含まれない	一部含まれる	含まれる
通学路に関すること	変更なし	変更なし	変更あり

2 建設場所

新しい西小学校を建てる場所については、概ね30,000㎡の敷地面積を確保し、かつ西小学校区のおおよそ中心に位置する箇所を選定する必要がある。

市街化区域内での土地の確保は困難であるため、市街化調整区域の農地が移転候補地となる。

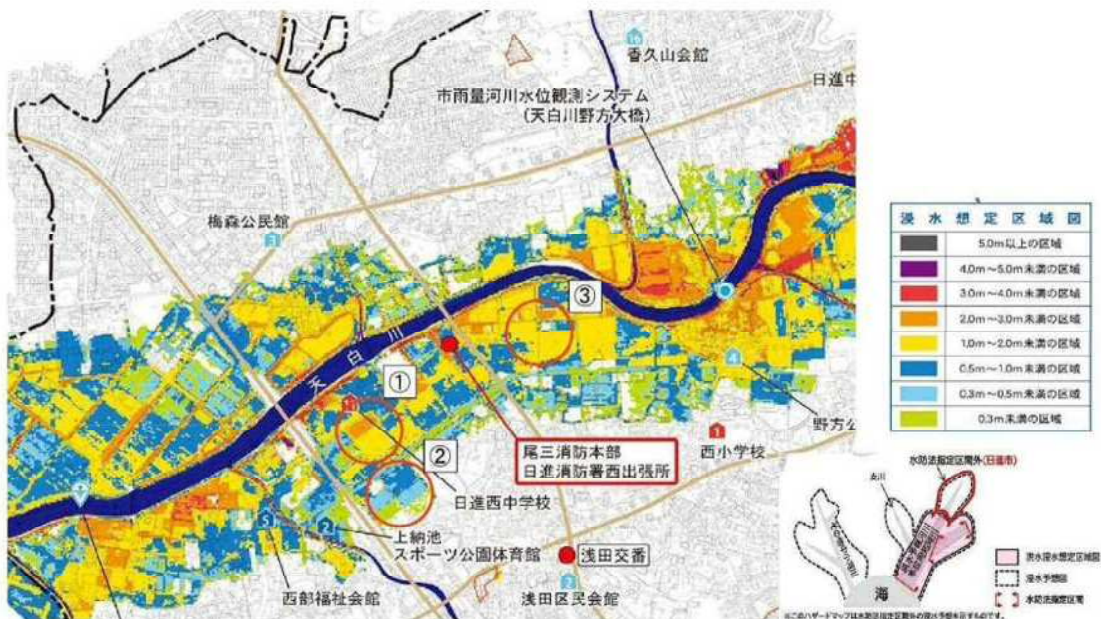
最もメリットが大きいと考えられる場所は、「①日進西中学校に近接する場所」である。



3 適正化対策を進めていくうえでの懸念事項

- ・移転候補地はハザードマップで浸水区域に指定されている。建設計画においては、水害対策について十分に検討する必要がある。
- ・周辺道路が浸水した場合の児童の送迎に係る安全対策や住民の避難場所について検討する必要がある。
- ・西小学校の跡地利用は、地域にとって大変関心が高い事項である。早期に跡地利用について検討し、地域の理解が得られるよう努める必要がある。
- ・西小学校や赤池小学校の児童数が増えているため、併設校とした場合には使い勝手の面で不都合な部分も考えられる。既に併設校として開校している竹の山小学校と日進北中学校を参考とし、校舎や体育館などの施設の設計をする必要がある。
- ・移転先の場所を選定した理由について、地域住民に対して丁寧な説明をする必要がある。

【参考】日進市洪水ハザードマップ
1000年に1度程度降ると予想される大雨により、
洪水が発生した場合の浸水予想区域とその深さを表示したものです。



Ⅱ 検討結果に至る経緯

1 日進市立西小学校適正化対策検討の主な実施内容

(1) 日進市立小中学校適正規模検討委員会の実施

ア 第1回

令和6年4月23日(火)午後3時30分から

議題 ・日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針について

・市内学区児童生徒推計資料について

イ 第2回

令和6年10月31日(木)午後3時30分から

議題 ・日進市立西小学校適正化対策検討部会での検討結果について

・日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する具体的方策について(中間報告)

(2) 日進市立西小学校適正化対策検討部会の実施

ア 第1回

令和6年5月30日(木)午後3時30分から

議題 ・西小学校校舎における現状と課題について

・西小学校の適正化対策について

イ 第2回

令和6年9月27日(金)午後3時30分から

議題 ・「新しい」西小学校に係る住民説明会の結果報告について

・「新しい」西小学校の建て方について

・「新しい」西小学校を建てる場所について

・今後の進め方について

(3) 「新しい」西小学校に係る住民説明会の開催

西小学校の方針検討にあたり、地元地域の皆様のご意見を伺うため、市民会館にて次のとおり住民説明会を開催した。

ア 開催日

令和6年8月23日(金)午後7時から(参加者56名)

令和6年8月25日(日)午前10時から(参加者45名)

イ 対象

西小学校区内にお住まいの方

ウ 内容

- ・「現在」の西小学校
- ・「現在」の西小学校の「弱み」
- ・「新しい」西小学校の建て方
- ・「新しい」西小学校を建てる場所
- ・今後の予定

(4) 「新しい」西小学校に係るアンケートの実施

住民説明会の参加者及び西小学校児童の保護者を対象にアンケートを実施した。(アンケート回収件数：89件)

2 具体的な検討内容

(1) 第1回日進市立小中学校適正規模等検討委員会での検討内容

西小学校は教室数の不足や敷地面積の狭さが懸念されるとともに、老朽化対策の必要があるため、日進市教育委員会附属機関の設置に関する規則第6条に基づき、専門の部会を立ち上げて、適正化対策について検討することとした。

(2) 第1回日進市立西小学校適正化対策検討部会での検討内容

日進市立西小学校適正化対策検討部会と日進市立小中学校適正規模等検討委員会の役割と位置づけを確認した。

西小学校の現状と課題を把握するとともに、適正化対策の手法を検討した。西小学校の主な課題は、「老朽化の進行」、「教室数の不足」、「敷地面積の狭小」などである。

主な意見は次のとおり

- ・現在の西小学校は、漏水や窓枠のゆがみ、手すりのぐらつきなど、問題箇所が多々発生している。長寿命化工事をしてこれら問題全てに対応できず、また、長寿命化工事実施後30年足らずで対応をする必要があるということであれば、長寿命化ではなく、建て替えのほうが理に適っているのではないか。
- ・現在地での敷地増しで建て替える場合、用水路の付け替えや高低差対策を行うと事業費が増大する。また、工事期間の4年間は児童への影響が大きい。
- ・移転となる場合、場所が現在地から大きく離れると、反対する意見があるかもしれないので、理解を得る必要がある。
- ・災害時の対応や避難経路、児童の通学に係る安全対策について、検討する必要がある。
- ・日進西中学校の近くに大規模な小学校を建設すると、西小学校の課題だけでなく、赤池小学校の課題解決にもつながる可能性がある。
- ・西小学校の敷地増しという手法についても、整理して検討した方が良い。

また、今後の検討課題について、次のことを確認した。

- ・長寿命化による対応よりも、建て替えをするべきだという点が明確になったが、建て替えする場合、現在地か移転かについては、さらなる検討をする必要がある。
- ・委員の意見だけではなく、地域住民説明会や保護者アンケートを実施し、地域の方々の意見を踏まえて検討を進める必要がある。

(3) 「新しい」西小学校に係る住民説明会の結果

ハザードマップの浸水区域が移転候補地となっている点について、不安があるとの複数の意見があった。また、通学路が変更することになった場合の、通学距離や安全対策に対する意見があった。一方で老朽化が進む西小学校の適正化対策について早期の方針決定を望む意見や、現在地は敷地が狭小、かつ、非整形であることなどから、新しく広い土地への移転を希望する意見があった。

(※詳細は別添「新しい」西小学校に係る住民説明会等結果報告書」参照)

(4) 「新しい」西小学校に係るアンケートの結果

回答者は、浅田区と梅森区に住む、30代から40代で、未就学児や小学生をお持ちの方が多かった。

適正化対策の手法については、「建て替え(移転)」が65.2%、「建て替え(現在地+敷地増し)」が24.7%、「長寿命化対策工事+増築(現在地)」と「その他」がそれぞれ4.5%であった。

建設場所については、「西中学校に隣接する場所が良い」が72.1%、それ以外が22.1%であった。

自由記述欄では、「ハザードマップの浸水区域であること」や、「通学路の安全対策」、「分離、新設」など説明会での主な質問内容と同様の意見のほか、「費用を最小限にして欲しい」や、「市街化区域への建設」など、相反する意見もあった。また、「早期の方針決定の要望」もあった。

(※詳細は別添「新しい」西小学校に係る住民説明会等結果報告書」参照)

(5) 第2回日進市立西小学校適正化対策検討部会での検討内容

「新しい」西小学校に係る住民説明会及び「新しい」西小学校に係るアンケートの結果を報告し、改めて「適正化対策の手法」及び「建設場所」について検討を行った。

事務局から、地元地域の住民からの意見に対する対応案を次のとおり説明した。

- ・ハザードマップ上の浸水区域に建設することについては、全国的には事例があることである。新しい小学校自体は、盛土による嵩上げを行うとともに、避難路の確保や避難訓練の実施など浸水対策計画を策定して対応することになる。

- ・通学路の距離、安全性については、現在の日進市の小学校の通学距離の基準である3km以内を満たしている。移転となった場合は周辺道路の安全対策を検討する。
- ・分離、新設については、考えていない。老朽化の進む西小学校の建て替えと新設学校の建設となり、最も高額な事業費用が必要となる。
- ・学区変更については、令和5年4月に実施しており、子どもたちへの影響を考えると頻繁に行うものではないと考えているが、今後、人口動態の変化があれば、改めて学区変更を検討していく。
- ・建て替え（現在地+敷地増し）において「北側だけでなく、東側の農地も敷地増しすれば工期が短縮できる」という意見について、物理的には可能であるが、校舎と体育館を新設するとなると、約19,000㎡の面積が必要であり、それだけの敷地を買い増すと現在敷地との合計で37,000㎡の過大な敷地になってしまう。

また、日進西中学校と隣接させることによるメリットについて次のとおり説明した

- ・日進西中学校と隣接させることで、西小学校児童に限ることになるが、小中併設校に近い学習環境を作ることができる。
- ・普段から上の学年や下の学年との交流が多いため、先輩・後輩としての意識を持つことができ、小学生たちの「中学生」へのあこがれや尊敬の気持ち、あるいは中学生の下級生への思いやりなどが育まれる。
- ・施設環境に慣れながら進級できる、また、中学校の様子を事前に知ることができるため、小中のギャップを感じにくい。
- ・一部の施設を共通で利用することで、施設の建設費及び維持管理費を削減できる。
- ・教職員駐車場や学校備品の共有ができる。

委員からは「浸水対策」、「新たな避難所の確保」、「跡地の利用方針」、「適切な施設配置」などの懸念事項が挙げられた上で、在校児童の学習環境への影響が低く、メリットが最も大きいと考えられる結論は次のとおりとなった。

適正化対策の手法	<u>「建て替え（移転）」</u>
建設場所	<u>「日進西中学校に近接する場所」</u>

また、「老朽化」や「教室数の不足」という課題の解決に向け、早期に方針を決定して、「新しい」西小学校の建設に着手していく必要があることから、検討結果についても早期に日進市立小中学校適正規模等検討委員会へ報告し、その後の手続きを進めていくことを確認した。

Ⅲ 意見

第2回日進市立小中学校適正規模等検討委員会において、委員から次の意見があった。今後、本中間報告における検討結果に沿って適正化対策を進めるうえで、「適正化対策を進めていくうえでの懸念事項」と併せてご留意いただきたい。

- ・既に小中併設を実践している日進北中学校と竹の山小学校では、中学生は「小学生に対して思いやりのある態度」を見せ、小学生は「中学生の活躍する姿を見て、中学校を身近に感じることができる」など、子どもたちにとって良い影響があると感じられる。日進西中学校と西小学校が近くなることは、子どもたちにとって大きなメリットだと考えられる。
- ・防災の観点から、浸水対策や避難所としての運用については十分な検討が必要である。災害時の対応は学校だけの問題ではなく、地域の方と一緒に検討をしていく必要がある。
- ・天白川の浚渫などを行い、本来の排水機能を発揮できるように管理することが災害対策になるため、その他の浸水対策と併せて進めていく必要がある。
- ・施設の共有を考えるとのことであったが、小学校と中学校のプールでは規格が異なる。事故等が発生するおそれもあることから、中学校のプールを小学生が使用することは無いようにしていただきたい。

令和6年度 日進市立小中学校適正規模等検討委員会 委員名簿

	委嘱区分	所属等	氏名
1	学識経験を有する者	愛知淑徳大学	三和 義武
2	区長会の代表者	東山区長	大谷 聡
3	区長会の代表者	梅森区長	伊藤 敏之
4	区長会の代表者	岩藤区長	池田 道則
5	区長会の代表者	岩崎台区長	森本 理介
6	小中学校PTAの代表者	香久山小学校 PTA 会長	古山 竜治
7	小中学校PTAの代表者	香久山小学校 PTA 家庭教育委員	山内 郁恵
8	小中学校PTAの代表者	日進中学校 PTA 会長	中西 憲介
9	小中学校PTAの代表者	日進中学校 PTA 家庭教育委員	磯村 忠佳
10	小中学校PTAの代表者	日進中学校 PTA 家庭教育委員	磯村 智子
11	小中学校長の代表者	赤池小学校長	志賀 直仁
12	小中学校長の代表者	日進北中学校長	池田 利勝
13	公募の市民	公募委員	山村 結加里
14	公募の市民	公募委員	水藤 芳枝

「新しい」西小学校に係る住民説明会等結果報告書

1 開催日時

1日目：令和6年8月23日（金）午後7時から午後8時16分まで

2日目：令和6年8月25日（日）午前10時から午前11時26分まで

2 参加者

1日目：56人（大人41人、子ども15人）

2日目：45人（大人35人、子ども10人）

延べ参加者数：101人

3 配布資料

・次第

・「新しい」西小学校について（A3）（別添1のとおり）

4 説明会での主な質疑・回答

別添2のとおり

5 アンケート結果

（1）アンケート回収数

1日目：20件

2日目：22件

後日回収：1件

あいち電子申請システム：46件

合計：89件

※アンケート配布方法

①説明会当日配布（紙・電子）

②西小学校保護者に電子配信システムにより配布

（2）アンケート集計結果

別添3のとおり

「新しい」西小学校の建て方の評価

	長寿命化対策工事+増築	建て替え（現在地+敷地増し）	建て替え（移転）
工事期間中の児童への影響	× <ul style="list-style-type: none"> 騒音等による授業への影響有り 一部校舎利用に制限有 学校活動と工事の動線区分けが難しい 工事期間が長期化 	× <ul style="list-style-type: none"> 騒音等による授業への影響有り 学校活動と工事の動線区分けが難しい 工事期間が長期化 	○ 影響なし
施設に関すること	× <ul style="list-style-type: none"> 約25年で建て替えが必要 新たな教育環境（バリアフリー等）への対応不可 	○ <ul style="list-style-type: none"> 新たな教育環境（バリアフリー等）への対応可能 	○ <ul style="list-style-type: none"> 新たな教育環境（バリアフリー等）への対応可能 移転場所により中学校との一体利用が可能
敷地に関すること	× <ul style="list-style-type: none"> 増築によりグラウンド面積減少 敷地面積が文部科学省基準を満たさない 	△ <ul style="list-style-type: none"> 文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 近接地の高低差対応が必要 	○ <ul style="list-style-type: none"> 移転場所により文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 整形された敷地
費用に関すること	○ 相対的に縮減できる（長寿命化工事+増築費用）	△ 相対的に費用がかかる（建設費用+増築用地費用）	△ 相対的に費用がかかる（建設費用+用地費用）
現状課題の解消（周辺道路・駐車場）	× 解消不可	△ 一部解消不可（敷地増しにより）	○ 解消可能
評価	×	△	○

【西小学校区内にお住いのみなさま】

本資料の内容について不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、市では西小学校の適正化対策に係るアンケートを実施しています。ご協力いただける方は、記載のQRコード又はURLからアンケートフォームにお進みください。【提出期限：令和6年9月6日（金）まで】

※説明会では紙のアンケート用紙も用意させていただきます。

https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-nisshin-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=104651

地域のみなさまから頂戴した意見を参考に、大切な西小学校の適正化対策を検討してまいります。今後どうぞよろしくお願いいたします。

【連絡先】日進市教育委員会生涯学習部学習政策課

電話：0561-73-4169 FAX：0561-74-0258 E-mail：gakushu@city.nisshin.lg.jp



別添2

説明会での主な質疑

番号	質問分野	主な質問内容	回答
1	ハザードマップの浸水区域への移転について	<ul style="list-style-type: none"> ・何故、ハザードマップの浸水区域にわざわざ移転するのか。浸水区域に指定されている場所へ移転している事例はあるのか。 ・学校だけ嵩上げしても、水害時には周辺の道路は冠水してしまうため、避難所にならない。 ・土壌改良や嵩上げをすると、更地に立てるのに比べて費用が高くなるのではないのか。移転するのは本当に経済的なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地は、ハザードマップ上では浸水区域にはなっていますが、通学距離等を考えて、西小学校区の中心に近いところで3万㎡の一団の土地が確保できる場所は他にありません。 ・雨が降っているときに避難して来るという段階で、ご不安はあるとは思いますが、実際に避難をされた後は、高さ的に問題がないですし、実際に浸水が起きたとしても水は数時間で引いていくものと考えております。 ・移転をする場合、候補地は農地が考えられ、ハザードマップ上の浸水区域の可能性が高いので嵩上げをする必要があります。現在の場所で西小を敷地増しする場合も、農地ですので、嵩上げが必要になります。移転でも現在地の敷地増しでも、嵩上げの費用はかかります。
2	通学路の距離、安全性について	<ul style="list-style-type: none"> ・西小の学区エリアは非常に広い。通学時間が非常に長くなっている。 ・移転すると、通学距離が近くなる子どももいれば遠くなる子どももいる。遠くなる子どもが心配である。 ・近年、気候変動で気温が上昇している中で、熱中症のリスクもある。 ・通学路が変わることにリスクもある。交通量の多い道路の安全対策はするのか。 ・西中と西小が併設された場合、1000人規模の学校が一緒になる。登下校時、多くの生徒が集中する。周辺道路は、非常に混雑しており、通勤時間は渋滞しているため、安全面に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日進市の基準では小学校の通学距離3km以内となっており、候補地は基準を満たしています。 ・移転となった場合は、安全対策のための道路拡幅を含め、安全な通学路の検討をしていきます。
3	学校規模の適正化について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で30クラスというのは非常に大きな学校で、子どもたちにとって良くない影響が多いです。規模の小さい学校だと、そういったことに細やかに対応することもできる。 ・12学級から24学級というのが文科省の学校規模の標準です。24学級から30学級というのは大規模校です。日進の指針でも31学級になったら、分離新設をするというふうになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の懸念はありますが、現在の西小学校が老朽化しており、建て替えや長寿命化が必ず必要となっています。 ・基本方針の中でも、必ずしも大規模校だから通常の規模に近づけなければならないとはなっておりません。将来的には必ず人口が減少してきます。短期的には大規模校にはなるかもしれませんが、将来を見据えた上で分離新設ではなく、建て替えを進めていこうという方針です。
4	分離・新設の検討について	<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校とは別に新しい学校を建設するという手法はないか。 ・分離・新設という形で小規模の学校を作っていく。児童が減って余った教室は活用できる。少人数の教育も進めていくことができる。 	老朽化の進んでいる西小学校の対策を検討していますので、分離・新設ということは現時点では日進市としては考えておりません。
5	地域とともにある学校機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域とともにある学校機能」について教えていただきたい。 ・学校に地域のためだけのスペースを作る必要はないのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も地域と学校で様々な行事を行っています。今後は、今以上に関わり合いを密接に持ちながら、学校運営や活動をしていく必要があります。地域の方の集会場、地域の行事を行えるスペースを持つ学校にしていきます。 ・地域に開く部分としては、例えば体育館、調理室、音楽室等の特別教室部分を学校の利用時間外に市民の方が使えるような検討をしていきたいと考えており、地域のための専用スペースを作るわけではありません。
6	学区変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・西小の学区エリアは非常に広い。学区変更についてはどのように考えているか。 ・大規模校に対応することも含めて、移転時に学区変更する予定があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区変更について、令和5年4月に香久山小学校に一部、西小学校から学区変更をさせていただいております。今後、人口動態の変化により学区変更を行う可能性はありますが、今の時点では学区変更については考えていません。
7	赤池小の過大規模校の問題との関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校を西中学校の横に移転することが、何故、赤池小学校の過大規模校の問題と関係するのか。 ・赤池小学校の児童が増えているから、「新しい」西小学校へ学区変更する可能性があるとのことだが、西小学校が過大規模校になるのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤池小学校も周辺の児童数、人口が増えており、過大規模校になりそうな状況です。赤池小学校と西小学校の学校区は隣接していますので、「新しい」西小学校を建設し、赤池小から学校区を一部変更することによって赤池地区の過大規模化を解消することに繋がるのではないかと考えています。 ・西小学校は将来的に30学級程度まで増える推計が出ているため、対応できる規模の学校を建設したいと考えています。必ず赤池小学校から学区変更されるということではありません。
8	用途の変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の方が用途変更しやすいとはどういうことか。 ・市街化調整区域に学校を建てた場合、用途変更が困難との説明であったが、コミュニティセンター等への用途変更もできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に人口減少等により学校を他の施設に変える場合、市街化調整区域では制限が厳しく、許可基準に沿ったものしか用途変更ができません。市街化区域であれば、一部要件はあるものの、比較的容易に変更することができます。 ・公民館だとか福祉会館的な施設の使い方ができるように建設したいと考えております。
9	プールについて	小学校が移転した場合は、プールは整備するのか。	詳細の方針については、今後決定していくこととなりますが、現在小学校のプールは民間委託しておりますので、小学校単独ではプールは設置しません。移転先が日進西中学校の横であった場合は、中学校との併用も視野に検討していきます。

説明会での主な質疑

番号	質問分野	主な質問内容	回答
10	学童について	移転となった場合、学童はどうなるのか。	移転ということになれば、新たに設置することになるとと思いますが、今後、検討していきます。
11	移転候補地について	候補地の枠は広く、距離がある。枠の東の方へ行けば、中学校と離れるので、メリットが一つ消えるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> 候補地は大きく囲んでいますが、実際には道路などで分断されていますので、3万㎡程度の一団の土地は3か所ぐらいに限られています。 中学校と併設するというメリットは、候補地の東側の場所を選んだ場合はなくなります。
12	ワークショップについて	「新しい西小学校を建設するワークショップを開催する予定です」とあるが、具体的にどういうものなのか教えてほしい。	今後、新しい西小学校に変わるときに、どのような学校にしていくか、地域の皆様や保護者の皆様と一緒に話し合っって新しい学校の中身を決める話し合いの場です。実際にどういう形になるかは検討中ですが、基本構想や基本計画の段階において、皆様のご意見をいただきながら、よりよい学校になるように話し合いを進めていきたいと考えています。
13	跡地の活用について	西小学校が移転した場合、跡地はどうなるのか決まっているのでしょうか。	建て替えか移転かが決定していないため、跡地の活用については、決定していません。
14	教室が足りなくなった場合の対応について	建築に5年以上かかるため、教室が足りなくなった場合はプレハブを建てざるを得ないという想定か。	プレハブ校舎の増築も併せて検討しております。
15	現在地の敷地増しについて	北側に敷地を増すとのことだったが、北東側の土地も使ってはどうか。道路で分断されるが、高架で繋げてはどうか。	物理的には可能かと思えます。それらを含め検討事項の一つになってくると考えます。
16	人口推計について	令和12年まで5、6年後までしか人口推計がないが、将来的には日進市も人口減少の時代が来るとのことである。いつ人口減少が始まるか分からないのに、6年後には子どもが増えるから移転が必要というのは、矛盾を感じる。	施設の老朽化に対応するため、子どもたちが増える、増えないに関わらず、長寿命化か建て替えが必要になります。人口減少は、全国的な傾向から考えられますが、西小学校に関して言えば数年後までは増え続けるということが分かっている状況です。
17	子どもの学習環境への影響について	工事の際の学習面における影響について、子どもが通っている間に大規模工事があるのは影響があると思うが、とはいえ西小学校は、何年前に耐震工事を行っていて、通学しながら、大規模工事を行ったり、赤池小学校が新設される前はグラウンドにプレハブ校舎を建てるといった大規模工事を行なっている。なぜ今回の工事だけ、子どもの学習面への影響を考慮するのか。	耐震化の工事は、いつ地震が起こるかもしれないという状況の中ですぐにも行う必要がありました。西小学校に関しては市内の学校の中で最もコンクリートの中核化が進んでいるという判断が出ているため、今回は計画的に工事を行うものです。
18	大型車の通行について	道路の問題ですが、消防車、はしご車等が入りにくいとの説明だったが、消防の見解として出されているものか。20年近く前に大量の消防車が小学校の中に入っている記憶がある。	消防の方から直接、入れないという指摘があったわけではありません。学校側からの話を聞きますと、道路が狭く、大型車が進入するのに簡単には入って来られない状況です。
要望	早期方針決定	西小学校は、運動場がかなり手狭でした。校舎も足りない状況も出ておりました。今の敷地では難しい状況があるのではないかなと思っておりました。これから子どもの人数が増えていけば、とても間に合わないと思います。しかも、教育内容が変わっておりますし、地域とともにある学校という関係でも、様々な場面で現在の西小学校では不安な場面が出てくるだろうと思います。現在でも若干、不足、不自由している学校だと思いますが、できるだけ早く新しい校舎を作ってほしい。皆さん方のご協力で、素晴らしい学校を作っていただきたいと念願しております。	
要望	・現在地の課題について（大型車の進入、形状の悪さ、暑さ、敷地面積）	今の西小学校で一番の問題は、大型の消防車、はしご車などが入れない状況にあることではないかと思えます。そして、西側の道路は広くなる可能性はありません。東も西も南も民家が建っていて、拡張しても形が整いませぬので、移転して新しく学校を作るというのは、大賛成です。近年続いている夏の暑さに対応できるような校舎になるとさらにありがたい。30人学級に向かって動いているのであれば、この地区のように高層の建物が建つ所においては急激な人数増加は考えられますので、それに対応するために広い土地が必要です。新しい場所に移転して、環境も整えて、車両の進入も可能な所で、通学路の整備までして欲しい。結論的に新しいところへの移転を希望します。	

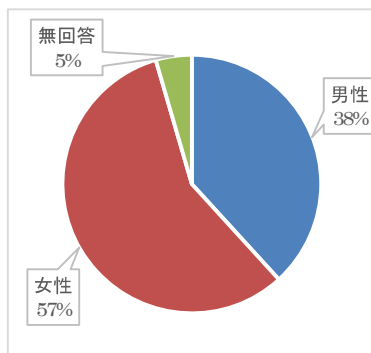
別添 3

アンケート集計結果

回答数 89

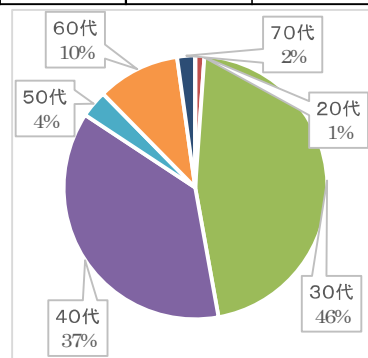
1 性別

男性	女性	無回答
34	51	4
38.2%	57.3%	4.5%



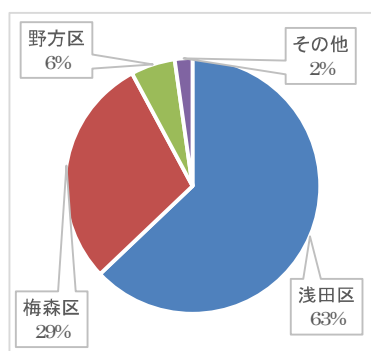
2 年齢

～10代	20代	30代	40代	50代
0	1	41	33	3
0.0%	1.1%	46.1%	37.1%	3.4%
60代	70代	80代～	無回答	
9	2	0	0	
10.1%	2.2%	0.0%	0.0%	



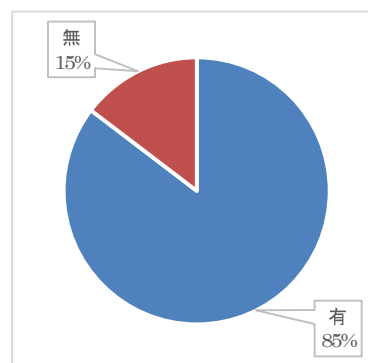
3 住所

浅田区	梅森区	野方区	その他
56	26	5	2
62.9%	29.2%	5.6%	2.2%



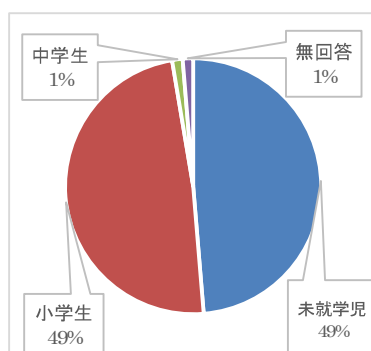
4-1 子どもの有無

有	無
76	13
85.4%	14.6%



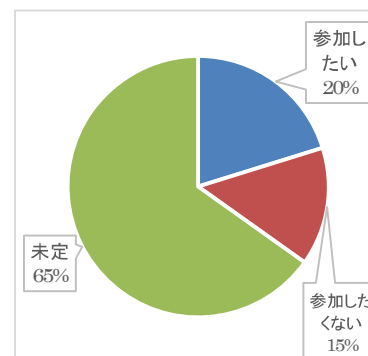
4-2 一番下のお子様の年代

未就学児	小学生	中学生	無回答
37	37	1	1
48.7%	48.7%	1.3%	1.3%



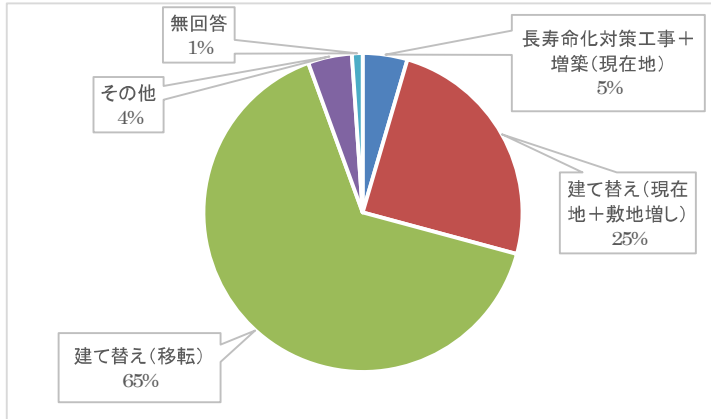
7 ワークショップについて

参加したい	参加したくない	未定
18	13	58
20.2%	14.6%	65.2%



5 「新しい」西小学校の建て方(手法)

長寿化対策工事+増築(現在地)	建て替え(現在地+敷地増し)	建て替え(移転)	その他	無回答
4	22	58	4	1
4.5%	24.7%	65.2%	4.5%	1.1%

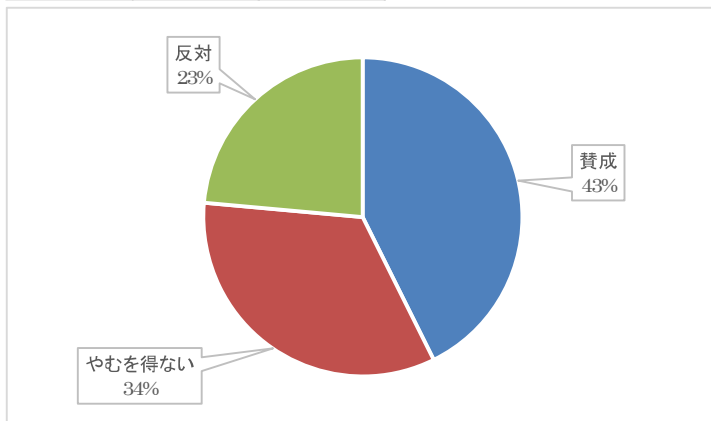


【その他の意見】

- ・分校
- ・まだわからないなど

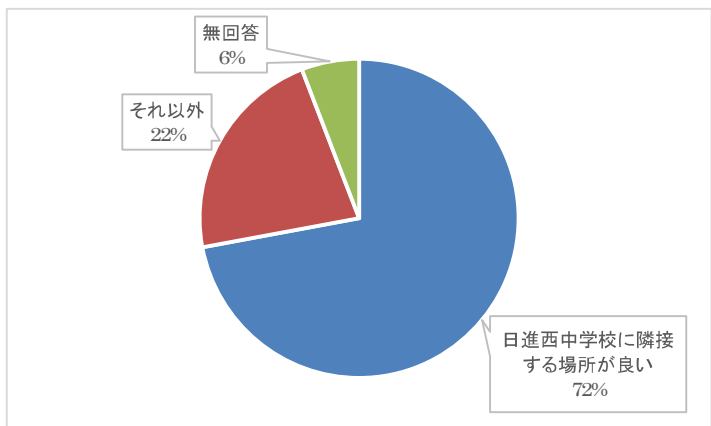
6-1 移転について

賛成	やむを得ない	反対
38	30	21
42.7%	33.7%	23.6%



6-2 建てる場所

日進西中学校に隣接する場所が良い	それ以外	無回答
49	15	4
72.1%	22.1%	5.9%



【それ以外の適地】

- ・現在地の近辺、敷地増し
- ・浅田地区近辺

など

【それ以外を選んだ理由】

- ・西中学校付近はハザードマップで浸水エリアになっている。
- ・西中学校周辺道路は交通量が多い。
- ・多くの児童が住む浅田地区から遠くなる。
- ・西小は歴史があり、今の場所にあることに意味がある。
- ・今の場所は保育園からの送迎に便利。
- ・今の学童から離れてしまう。

など

アンケート集計結果（自由記述欄）

- 1 「新しい」西小学校の建て方について、次の手法のうち、どれが良いと思うか教えてください。（その他を選択）（5件）

【主な意見】

分離・新設と現在地での建て替え

- 2 「新しい」西小学校を建てる場所について、「それ以外」を選ばれた場合、適地を教えてください。（14件）

【主な意見】

- ・現在の西小付近
- ・人口の多い浅田地区
- ・通学路の安全が確保できる場所
- ・学区変更を見据えた場所
- ・ハザードマップの浸水区域以外

- 3 西小学校が移転することについて「反対」を選ばれた場合、その理由を教えてください。（19件）

【主な意見】

- ・ハザードマップの浸水区域であるため。
- ・通学路の距離が遠くなる。
- ・交通量が多く通学路の安全確保が必要
- ・分離・新設と現在地での建て替えが良い。
- ・大規模校になってしまう。
- ・歴史ある西小を移転してほしくない。
- ・南小へ学区変更してほしい
- ・人口はいずれ減少するので、費用は最小限にして欲しい。

4 最後に、学校の建て替えに関して、ご意見やご要望がありましたら、何でも教えてください。(54件)

【主な意見】

- ・ハザードマップの浸水区域は危険である。
- ・通学路の距離が遠くなる。
- ・通学路の安全確保が必要。
- ・日進西中付近への移転・建て替えに賛成。
- ・分離・新設と現在地での建て替え
- ・歴史ある西小を移転してほしくない。
- ・騒音など子どもたちの学習環境への影響を考えると現在地付近での建設はやめて欲しい。
- ・学区変更を再検討してほしい。
- ・方向性を早期に決定してほしい。
- ・現在の西小学校跡地の有効活用も検討してほしい。
- ・人口重心・距離重心からの位置検討をしてはどうか
- ・将来の用途変更を考えると、市街化区域に建設したほうが良い。
- ・併設するだけでは、竹の山小・日進北中のような効果が得られない。
- ・人口減少が考えられるので適正規模の学校を建設してほしい。